

「バイオマス燃料集配基地化プロジェクト」について

北九州市港湾空港局では、充実した港湾・電カインフラや広大な産業用地を有するといった響灘地区の特性を活かし、大規模な再生可能エネルギー施設の立地を進めている。

今回、「エネルギー資源開発株式会社」が、バイオマス発電所用の燃料を輸入/ストックし、国内の各発電所に供給する日本最大の「バイオマス燃料集配基地」を響灘地区に建設する計画が決定した。

この「バイオマス燃料集配基地」は、本市が目指す低炭素社会の好例となり、臨海部産業用地の利用と港湾インフラの活用、ひいては地域経済の振興と雇用の創出、本市の更なる物流拠点化にも大きく寄与することが期待される。

本市としては、本事業の実現を全力でバックアップしていきたいと考えている。

1 事業主体

エネルギー資源開発株式会社（略称：ERE）

所在地：東京都千代田区神田須田町 2-2-7

代表取締役：家長 将典

主な事業内容：バイオマス燃料供給事業、火力発電所のコンサルティング事業

2 計画概要

基地所在地：若松区響灘地区 ひびきコンテナターミナル西側

事業内容：バイオマス燃料の調達、供給及び管理運営

対象施設：燃料貯蔵用ストックヤード 約 7ha

年間最大取扱量：約 200 万トン

燃料種類：未利用木材、農作物残渣（北米、アジア各地から輸入）

事業費：約 30 億円

雇用予定：約 50 人

供用開始：平成 29 年度

3 事業内容

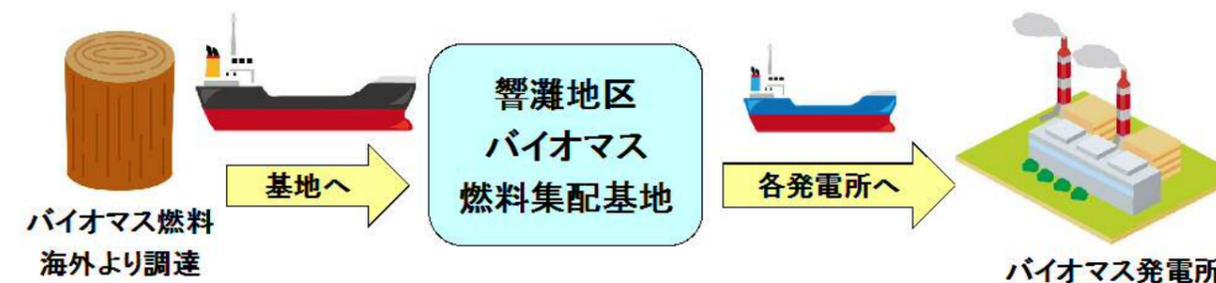
1) 海外からのバイオマス燃料輸入

- ・バイオマス燃料を海外（北米、アジア各地）から輸入
- ・響灘地区の基地（約 7ha）に移送後、ストックヤードで備蓄

2) 全国の発電所へバイオマス燃料供給

- ・響灘地区の基地から各発電所へ海上輸送

＜事業スキーム＞



＜バイオマス燃料イメージ＞



4 位置図

